

## SAP 導入事例

# 株式会社エクセディ 様

## HEC on AWSを軸にSAP ERPをS/4HANAに移行 データ活用を促進し経営の高度化を目指す

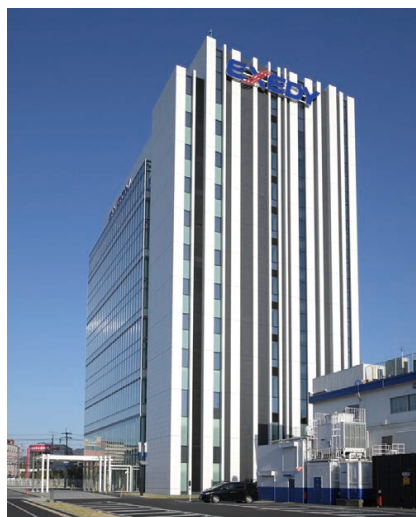


株式会社エクセディ  
管理本部  
情報システム部 部長  
前神 勇司 氏



社 名：株式会社エクセディ  
本社所在地：大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号  
設 立：1950年7月  
資 本 金：82億8,400万円  
従業員数：15,081人（連結、2023年3月31日現在）  
売 上 高：2,856億円（連結、2022年度通期）  
事業内容：マニュアルクラッチ（手動変速装置用製品）やトルクコンバータ（自動変速装置用製品）などの駆動系部品メーカー。企業理念は「喜びの創造」。開発から生産までを自社で行い「安全」「品質」「納期」「コスト」を最重視したもののづくりを推進する。世界のニーズに応える新製品開発を進めるとともに、製品の生産・提供を通じ、サステナビリティ活動にも積極的に取り組む。

U R L: <https://www.exedy.com/ja/>



### 事例のポイント

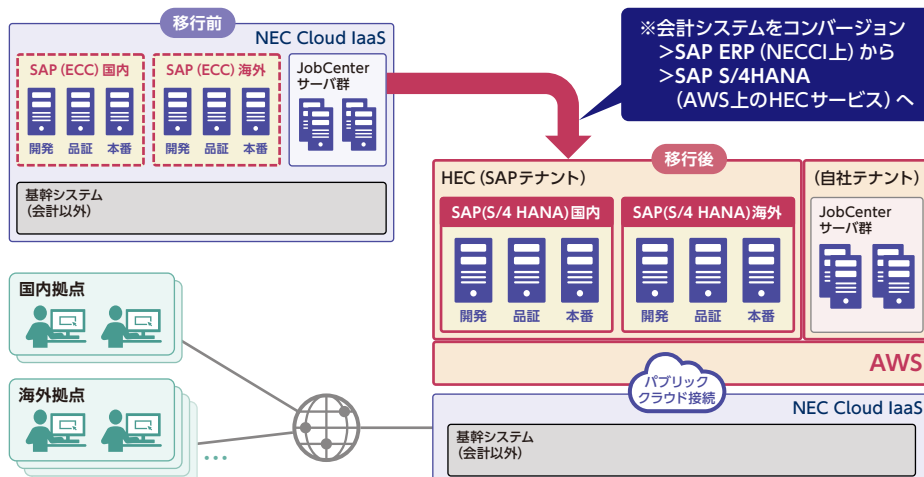
#### 課題背景

- 多様なデータを活用しデータドリブン経営にシフトしたい
- SAP環境で利用するSQL Server 2008のサポート期限切れが間近に
- SAP S/4HANA化を目指しつつ、既存業務への影響を抑えたい

#### 成 果

- HEC on AWSによるデータ活用基盤を整備**  
AWS上のHEC (HANA Enterprise Cloud) に既存SAP環境を、SAP S/4HANAにコンバージョンを実施。会計システムの基盤をAWSに集約したことで、グローバルの経営情報を一元的に管理・活用可能な環境を整備した
- 限られた期限内で予定通り移行を完遂**  
NECとSAP社が緊密に連携し、プロジェクトを推進。移行リスクを回避し、要件を満たすシステムを予定通りにカットオーバーした
- システムの信頼性や使い勝手を継承**  
既存業務フローは極力変えない方針でコンバージョンを実施。これによりシステムの可用性・安定性を堅持し、業務への影響も極小化できた

### 導入ソリューション



SAP ERPをSAP S/4HANAにコンバージョンし、新システムの基盤にはAWS上のHECを採用。ジョブ監視・管理を行う既存のSAP環境もAWSに移行し、データを集約・活用しやすい環境を整えた。会計系以外の基幹システムやツール、ネットワーク回線などは変更せず、新システムへの経路のみ変更することで移行リスクを低減した

## 導入前の背景や課題

新しいテクノロジーを活用して  
データドリブン経営を目指す

駆動系部品の専門メーカーとして70年の歴史を持つエクセディ様。世界25カ国46社の拠点を有するグローバル企業として、高品質な製品を世界各地に提供しています。自動車用駆動系部品では世界有数のメーカーであり、なかでもトルクコンバータのシェアは世界トップクラス。その技術力を活かし、環境性能を高めた製品の開発、生産・供給体制の脱炭素化を進め、持続可能な社会の実現にも貢献しています。

グローバル企業として国際競争力を維持・強化していくためには、こうした活動を加速していくことが肝要です。そのためにはデータの活用が欠かせません。「デジタル技術を活用したリアルタイムの経営モニタリングを実現し、データドリブン経営にシフトする。経営層からはこうした強い要望が上がっていました」と同社の前神 勇司氏は話します。経営を支える基幹系システムはNECのサポートのもと、SAP ERP (ECC6.0) とNECのERPパッケージ [EXPLANNER] を軸に構築。2012年1月に稼働を開始し、現在はプライベートクラウド環境で運用しています。なおSAP ERPは財務会計と固定資産管理についてグローバルで利用しています。

基幹系システムは性能・機能面や使い勝手で大きな問題はありませんでした。SAPシステムと連携するSQL Server 2008のサポート期限が2022年7月に迫っていました。

そこでこれを機に、国内および国外にある2つのSAP ERPインスタンスをSAP S/4HANA (以下、S/4HANA) にコンバージョンすることを決断しました。「インメモリデータベースをはじめとする新しいテクノロジーを活用することで、業務のスピードアップ、経営の要請に応えるデジタル化とデータ活用が大きく進むと考えました」(前神氏)。

## 選択のポイント

要件を満たす提案力・実現力と  
これまでの実績を評価

国内外の2インスタンスのS/4HANA化に向け、同社は社内の要件を再確認しました。「基幹系システムとしての可用性・安定性を堅持し、サポート期限までにカットオーバーすることは絶対条件でした」と前神氏は語ります。業務のスコープを変えないこともポイントでした。現行システムで業務は問題なく運用されているため、S/4HANA化に伴う業務運用の見直しは必要ないと判断したからです。ただし、機能の差異がある場合、画面や操作を変更する必要があります。その場合は現行業務に影響を与えない範囲で新機能を利用することにしました。未来志向型のリアルタイム経営基盤の実現も重要な要件

でした。「この基盤の実現は今回のプロジェクトの大きな狙いの1つ。グローバルの経営情報を統合することで、海外を含めた各拠点の経営情報の見える化が可能になります。これによって意思決定のスピードアップや事業課題の解決、新たな価値創造が期待できます」(前神氏)。これらの要件を実現するパートナーとして選定したのがNECです。「私たちのやりたいことを深く理解し、要件を満たす最適な提案が決まりました」と前神氏はその理由を説明します。これまでの実績も高く評価しました。実はEXPLANNERとSAPクラウド経営サービスを組み合わせた現行システムはNECの提案によるもの。システムの使い勝手や安定性は長年の運用で実証済みです。グローバル展開を見据えた業務フローやコードの標準化、多言語対応、各国制度対応も包

含して対応できます。

「NECは、システムはもちろん、当社の業務も深く理解しています。SAPシステムに精通したエキスパート人材を配置するなど、これまで同様の体制も維持してくれるため、安心して任せられると判断しました」(前神氏)。

現行システムはプライベートクラウドで運用しているため、今回の基盤も基本的にクラウド利用をベースに検討を進めました。「NECはSAP社と緊密なパートナーシップを構築しており、定期的な情報提供、グループ各拠点への展開も共同で行ってくれています。両社の高品質なサポートが期待できるため、今回の基盤にはAWS上のHECを採用することにしました」と前神氏は続けます。

## 導入後の成果

HEC on AWSへのコンバージョンを  
ダウンタイムゼロで予定通り実現

プロジェクトは2020年7月よりスタート。計画策定フェーズ、移行検証フェーズ、実行フェーズを経て、2022年1月の正月休みで国内外の12拠点すべての切り替えを一気に実行しました。「会計システムのダウンタイムは全社的な業務への影響が大きい。グローバル全拠点の一斉入れ替えはこれを回避するためです」(前神氏)。具体的にはSAP ERPからS/4HANAへコンバージョンするとともに、インフラBASISやジョブ監視・管理など既存のSAP環境もAWS上のHECに移行しました。オンプレミスからAWS上のHECへのコンバージョンはNECとしても

初のチャレンジです。そのプロジェクトを前神氏は次のように評価します。「タイトスケジュールの中、コンバージョンおよび移行タスクを予定通り推進いただいたことには感謝しています。本番稼働後にはいくつかの障害も発生しましたが、NECのSEと営業が速やかに対応してくれたため、以降は安定的に稼働しています。各拠点の教育もNECがサポートしてくれたため、新機能の習得や新システムの運用定着もスムーズに進みました。また、これまでと変わらない使い勝手を継承してくれたため、業務への影響も最小限に抑えることができた点も大きい。S/4HANA化によって性能面も強化されたため、財務経理担当者の業務負荷の軽減も期待できると考えています」

今後、同社ではS/4HANAをベースにデータドリブン経営へシフトし、ビジネスのDX (デジタルトランスフォーメーション) を加速していく考えです。その実現に向け、現在はNECとともにEXPLANNERやSAP環境のデータを一元化するデータ活用基盤の整備を進めているところです。これに歩調をあわせ、ビジネスアプリケーション群 [SAP Fiori] の活用も進め、モバイルワークによる生産性向上を目指していく予定です。

S/4HANA化により次世代を見据えた基幹システムのアップデートを実現したエクセディ様。この強みを活かし、既存業務のさらなる効率化とデータドリブン経営を推進し、駆動系部品のトップメーカーとしてさらなる成長を目指す構えです。

お問い合わせは、下記へ

NEC デジタルプラットフォームビジネスユニット ビジネスアプリケーションサービス統括部  
SAP事業グループ

E-mail: nssc-cs@sap.jp.nec.com

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。  
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。  
●本製品の輸出 (非居住者への役員提供等を含む) に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きに当たり資料が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

VEGETABLE  
OIL INK

環境にやさしい植物油インク  
を使用しています。